

## 芦屋病院は地域医療連携を推進しています

問い合わせ 地域連携室 ☎31-2156

芦屋病院は、地域における基幹的な公的病院として、地域医療の確保のための役割を果たし、良質な医療を継続的に提供することを目指した経営改革を進められるよう「市立芦屋病院 新改革プラン」を策定しました。

新改革プランは、医療制度改革への対応や、地域医療構想、地域包括ケアシステム構築を踏まえ、「医療機能の分化・連携」、「在宅医療の充実」に重点を置いて策定し、地域の中核病院として果たすべき役割を示しています。

### 地域完結型医療の構築に向けて更なる連携強化へ

当院は、市内の中核病院として、地域の診療所や介護施設、近隣医療機関等との機能分担を図りながら、救急医療を含めた診療体制の充実を図っています。特に在宅医療を担う診療所の後方支援病院としての役割に重点を置いており、患者急変時の受け入れ医療機関として体制を整備しています。入院加療後は、状態が安定すれば退院へ向けての支援が始まります。引き続き、在宅医への診療情報提供、各種介護サービス担当者とのカンファレンスなどを行い、退院後も安心して在宅医療を受けられるよう連携を図っており、今後も更に連携強化に向けて取り組みを進めていきます。最近では新たな連携ツールとして、インターネットを利用して他の医療機関から当院の電子カルテ情報が参照できる「病診連携システム」の利用を促進しています。システム参照に関する同意書をあらかじめ取り交わしておくことで、かかりつけ医がタイムリーに診療情報を参照することができ、一貫した治療が期待されます。

また、当院では対応できない疾患や高度な医療処置が必要な場合は、近隣の専門病院や三次医療機関へ紹介しています。

患者さんに適切な医療を受けていただくため、近

隣医療機関との連携は欠かせないものになっています。当院も近隣医療機関との連携会等へ職員が積極的に参加し、情報共有、円滑な連携に努めています。

### 住み慣れた自宅へ早期在宅復帰を支援します

当院では、患者さんが住み慣れた自宅へ早期に戻れるよう、退院支援専属の看護師、医療相談員を配置しています。退院される全患者さんのうち、約4割の患者さんが何らかの支援を必要とされており、退院に向けて在宅医、訪問看護、ケアマネージャー等との連携を図りながら、患者さん一人一人に最適な在宅ケアが提供できるよう環境調整を行っています。また、今後増加が見込まれる認知症患者については、芦屋市認知症初期集中支援チーム(※)との積極的な連携、認知症看護認定看護師による支援などさまざまな角度から積極的に関与していきます。

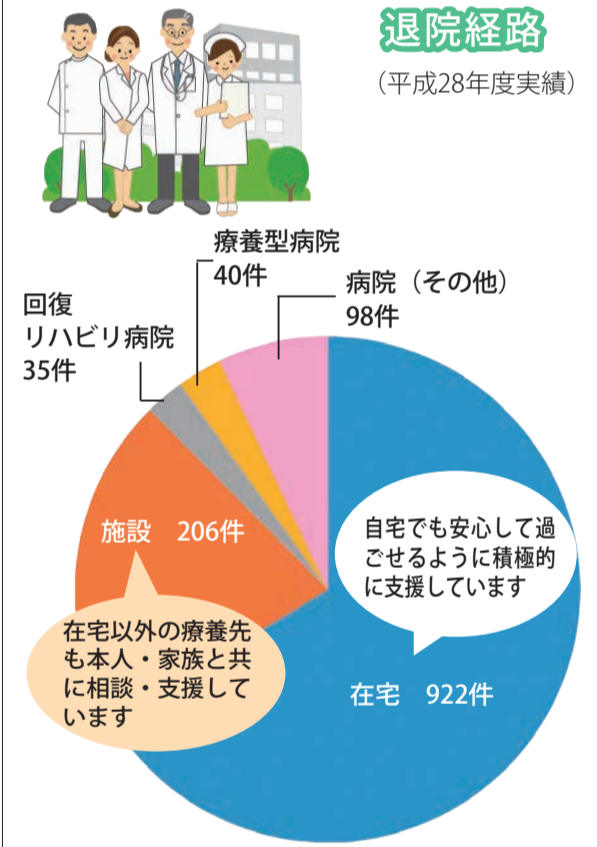
**芦屋市認知症初期集中支援チーム(※)**  
 認知症サポート医・看護師・高齢者生活支援センター職員により編成されたチームが、認知症やその疑いのあるかた、家族に対して訪問等による支援を、おおむね6カ月以内の期間に集中的・包括的に行い、在宅での自立生活のサポートを行います。



地域連携室

### 退院支援を行った患者さんの退院経路

(平成28年度実績)



## 市民の皆さんが安心して暮らせる地域医療をめざして



病院長  
西浦 哲雄

厚生労働省は「地域医療構想」を作成し、住民が「住み慣れた地域で生活しながら、状態に応じた適切な医療が受けられる」地域医療の提供体制(地域完結型医療)の構築に向けて現在、急速に取り組んでいます。なかでも、「医療機能の分化・連携」「在宅医療の充実」「医療従事者の確保」が重点政策として挙げられており、当院はこの重点政策に沿って、市民の皆さんが安心して暮らせるように、①充実した医療の提供、②在宅医

療の推進、③救急医療の整備、④検診の推進の4つの柱で芦屋市民の皆さんの健康を支えていきたいと思ひます。

まず、医療体制ではがん治療、緩和医療、生活習慣病対策が重要です。がん治療においては、消化器内視鏡診断や治療の充実、外科・婦人科領域においても積極的な腹腔鏡手術を導入し、身体への負担軽減に努めています。がん化学療法では化学療法専門医が抗がん剤による副作用を軽減し、高い生活の質を維持できるよう、幅広い領域の治療を担っています。緩和ケアでは、南阪神地区の公立病院において唯一緩和ケア病棟を有しており、医師、看護師、薬剤師等による質の高いチーム医療を行っています。

次に、救急医療に関しては、当院は「断らない救急」を目指し、内科系24時間救急を提供してきましたが、今年度5月より一部の曜日において外科系救急(外科・整形外科)の24時間体制も開始しました。

最後に検診事業の推進です。生活習慣病の予防、医療費抑制に最も効果があるといわれている検診事業を推進することは国の政策の一つです。当院も特定健診・人間ドックに力を入れ、市民の皆さんがいつでも検診が受けられる体制を確立したいと思います。

このように、市立芦屋病院では市民の皆さんが安心して暮らしていただけるように、職員一同がより一層切磋琢磨してまいります。